

背景

- 現在の国際社会においては、国境を越えた人の移動が増加
- 様々な課題に対して的確に対応していくために、各国・地域との連携、協力が必要不可欠
- 適切な国境管理の実施と国内での共生社会の実現にあたり、各国共通の課題に直面

関係閣僚会議決定

外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策

(令和7年度改訂 令和7年6月関係閣僚会議決定)

外国人材の円滑かつ適正な受入れの促進に向けた取組や外国人との共生社会の実現のための受入れ環境整備等に関して情報共有・意見交換をするため、国際会議を開催するなど、関係国等との情報交換の枠組みを構築し、連携強化を図る(施策番号149)

第5回東京イミグレーション・フォーラム概要

趣旨・目的

- 外国入管当局等が直面する課題等について、定期的に情報共有・意見交換を行うプラットフォームを構築する
- 外国入管当局等が交流を深めつつ連携・協力を強化し、ベストプラクティスの交換などにより入管施策等の向上を図る
- 円滑かつ適正な外国人材の受入れ、安全・安心で調和のとれた共生社会を含む出入国在留管理行政を実現する

参加国・国際機関 23か国、1地域機関及び2国際機関

インド、インドネシア、オーストラリア、カナダ、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、中国、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、ブルネイ、米国、ベトナム、マレーシア、ラオス、欧州対外国境管理協力機関（FRONTEX）、IOM、UNHCR

プログラム

12月10日（1日目）	12月11日（2日目）	12月12日（3日目）
開会セッション 基調講演(IOM事務局長) 全体会合① 歓迎レセプション	出入国管理機材紹介 分科会 全体会合② 講演 閉会セッション	視察（国立印刷局）

基調講演

IOM事務局長

講演

FRONTEX
副事務局長

参加クラス

高級実務者
(局長・次長級)

開催場所

浅草ビューホテル

各議題

◆全体会合①

最近導入した出入国在留管理施策についてーデジタル・トランスフォーメーション（DX）の取組を中心にー

◆分科会

入管職員等の人材確保や研修制度を含めた人材育成のベストプラクティス

◆全体会合②

被収容者の健康管理及び保健衛生の保持ー医療の課題を中心にー

◆講演

欧州における国境管理の未来ー新技術とデジタル化